JENESYS 2016

ふくしまと韓国かけはしプログラムⅡ－ふくかん農食品文化交流事業－
（派遣プログラム）
（対象国：韓国，テーマ：福島の魅力・福島の今を紹介します）の記録

1. プログラム概要

福島の農業関係者ら 50 名が 3 月 15 日から 21 日までの 6 泊 7 日間の日程で訪韓し、「ふくかん農食品文化交流事業」を実施、「福島の魅力・福島の今を紹介します」のもと、対日交流を深めた。

一行は、ソウルのほか、全州、金堤、公州、大邱、釜山、安東など、6 泊 7 日間にわたって、韓国の農業や食文化に触れ、全州と大邱では、それぞれの市民を招待し、大型の農食品文化交流会を行った。プログラム中は、福島から持ち込んだ米をはじめ、リンゴジャムなどの食品を交流する韓国の市民に食べていただき、いかに福島の食品が安全であるかをアピールした結果、大いに風評被害払拭に役立てることができた。

【訪問地】（複数国の参加の場合に記載）

ソウル市、公州、全州、金堤、大邱、釜山、安東他。

2. 日程

3 月 15 日（木）仁川国際空港より入国，全州到着時オリエンテーション

3 月 16 日（金）【体験】公州韓屋村にて百済国の王族衣服体験、
公州市内をフィールドワーク（齊民川）。

3 月 17 日（土）【見学】鎭安（チンアン）馬耳山
【体験】金堤（キムジェ）ツリハウス伝統菓子つくり（金堤）
全州で伝統うちわつくり
【歓迎会・交流会】日本の伝統芸を披露、福島なし農家によるプレゼン。
交流会に出席した皆さんに福島の米を使ったご飯、甘酒、もちを作り、福島で作ったリンゴジャムでもてなす。

3 月 18 日（日）【視察】釜山チャガルチ市場、甘川文化村、海雲台

3 月 19 日（月）【視察】、薬零市韓医学博物館、西門市場
【体験】漢方足湯
【交流会】日本の伝統芸を披露、福島なし農家によるプレゼン。
交流会に出席した皆さんに福島の米を使ったご飯、甘酒、もちを作り、福島で作ったリンゴジャムでもてなす。

報告会（訪韓成果・帰国後の活動計画発表）

3 月 20 日（火）【見学】安東河回村、ソウル東大門市場
3 月 21 日（水）仁川国際空港より出国

3. プログラム記録写真

3 月 17 日）全州大学の芸術の殿堂にて、歓迎会及び交流会（福島の事務局が交流会参加者に米やジャムらをプレゼントしている）	3 月 17 日）ふくかんねっとで呼びかけた韓国全国からきた福島ファンの皆さん。大田、郡山、益山、ウルサン、大邱、釜山、麗水、済州島から来た皆さんと、福島民間交流ファンクラブ交流会。
3 월 17 일)전주대학교 예술의 전당에서 환영회 및 교류회(후쿠시마 사무국이 교류회에 참가한 분에게 후쿠시마산 쌀과 사과 잼을 선물하고 있다.)	3 월 17 일)후쿠칸네트가 한국 각지역에 소집한 후쿠시마 팬여러분. 대전, 군산, 익산, 울산, 대구, 부산, 여수, 제주도에서 오신 여러분과 (가칭)후쿠시마민간교류 팬클럽 교류회.
3 月 17 日）果物農家の福島の魅力をパワーポイントと映像で紹介。交流会の参加者に風評被害払拭になり、感動を呼んだ。	3 月 17 日）全州交流会にて、福島の団員が日本伝統舞踊を披露している。震災以来、福島の復興のためにイギリスなど、世界各国で日本伝統舞踊を披露している福島の若い皆さん。彼らは震災以来、福島の復興にかける思いを壇上で伝えたのち、踊った。参加者の中からは“涙が出るほど感動した”と言われたほどだ。

3 월 17 일)후쿠시마 과일농가가 후쿠시마의 매력을 영상으로 소개. 교류회 참가자들에게 감동을 불러일으키고 풍문을 해소시키는데 큰 역할을 했다.	3 월 17 일)전주교류회에서 단원이 일본전통춤을 선보이고 있다. 동일본대지진이래 후쿠시마부흥을 도와서 영국 등 세계각국에서 전통무용을 선보이고 있는 후쿠시마 젊은 무용수들.무대위에서 지진후 후쿠시마부흥에 임하는 자신들의 생각을 설명한 뒤 춤을 추었고, 관람석에서는 "눈물이 날 만큼 감동했다"고 말하는 사람도 있었다.
3 月 17 日）キムジェのツリハウスにて、水野さん(韓国人女性と結婚、韓国に暮らす日本人)の日と韓国の歴史について講演を聞いている。 過去に日本と韓国が仲良くしていた時代の話に、興味津々の団員。	3 月 19 日）大邱の交流会後、班ごとに報告会で発表している。①もっとも印象深かったこと。②学んだこと。③今後のアクションプランニついて、報告会を開き、団員の多くは民間交流の素晴らしさ、風評被害払拭のため努力していかなければならないこと、韓国に対して親しみを抱いたと発表しました。
3 월 17 일)김제 트리하우스에서 미즈노상(한국인 여성과 결혼후, 한국에서 살고 있는 일본인) 의 한국과 일본의 역사에 대해 강의를 듣고 있다. 과거 일본과 한국이 서로 친근하게 지냈던 시대에 대해 흥미진진하게 듣고 있는 단원.	3 월 19 일) 대구 교류회가 끝나고 반별로 나뉘어 보고회를 열고 발표를 하고 있다. ①가장 인상 깊었던 일.②배움이 된 일. ③앞으로의 액션플랜,등에 대해 보고회를 열고 단원의 대부분이 민간교류의 훌륭한 점, 풍문해소를 위해 노력해야하는 점, 한국에 대해 친금감을 느꼈다고 발표했다.

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本国　社会人

私は今回の経験を通して、福島と韓国の継続的な交流をすることが大切ではないかと感じました。そして、その間には信頼関係が必要であると思います。なぜなら、伝えたい相手に信用されていなければいくら福島の農産物の安全性を伝えても、それを信じてもらえないからです。そして、その信頼関係を築いていくために必要なのが交流であると思います。

私自身も直接現地の人たちと交流をすることで様々な気づきがありました。交流会の時に福島から持っていった食べ物を美味しいと言って食べてくださったり、たとえ言葉が通じなくてもその表情やしぐさから喜んだり、楽しんでいることを肌で感じることができました。そこで興味関心をもった方々が交流に参加して、耳を傾けてくれる。そうやって少しずつかもしれないけれど理解の輪を広げていくことが福島の風評被害の払拭に繋がっていくのではないかと思います。（女性）

◆　日本国　社会人

私はこのプログラムで韓国に行く前に心配してることがありました。なぜかというと日本と韓国は政治的に問題があり、母から韓国は特に食品の検査に厳しく福島の食材はほとんど食べなく風評被害が特にあるということを知らされていたので、韓国に行って嫌な目をされたらどうしよう。仲良く出来るのだろうかと思っていました。ですが私が想像していたものとは全く異なり全州と大邱市民の方々はとても暖かく迎えて下さいました。「踊り素晴らしかった」「これからも頑張ってね」など握手と共にたくさんのお言葉をかけてくださいました。メディアなど悪い情報にとらわれず、実際に人と触れ合うことで誤解が解けたり、人の暖かさを感じられることを学びました。そして1週間を通してふくかんねっとは常に今後の活動に繋げていくためにたくさん行動していることも学びました。SNS 発信、福島のものを食べてもらう、アンケートの内容など、風評被害を払拭するために必死に行っていらっしゃると感じました。

ふくかん農食品文化交流事業を通して学んだ SNS を有効に使い、福島の農食品の安全性、福島県のものを食べ福島で元気に生きているということを発信していきたいです。（女性）

◆　日本国　社会人

日本と韓国はとても近い距離にありながら、なかなか解けない問題を抱えているように思います。しかし、今回のような民間レベルでの交流事業に参加してみて、政治的ではない人同士の顔が見える交流の素晴らしさに気づきました。特に、福島はこのような交流スタイルでないとなかなか前に進まないように思います。交流の場にたくさんの韓国のみなさんがお見えになって、福島から持ち込んだ食品を食べて一緒になって福島の風評被害について考えてくれる姿にとても感銘を受けました。ふくかんの活動に少しでも協力していきたいです。（男性）

5. 受入れ側の感想

◆　自治体関係者等

吾妻地区の地区同士交流実行委員たちとの話し合いをするために、全州のヒョジャ洞（＝地区）の実行委員長らが 5 月 22 日に福島を訪ねることが決定しました。これからの時代、民間レベルの草の根交流が非常に大事になっていくと確信しています。特に、全州の国際交流の将来を考えるとき、一方通行の交流よりは、全州とのかかわりを持ち、相思相愛の関係にある地域と手をつないでいくことが肝心だと思います。福島の吾妻地区はそういう意味で大切な交流仲間です。ヒョジャ洞の皆様が福島に行って福島の安全を確認しており、今後は互いに将来のことを固めていきましょう。（全州）

◆民間団体代表

福島ファンを作るというふくかんねっとの方針に大歓迎です。さっそく、福島を訪ね

たいリピーターが 4 月 26 日には出発することになりました。民間レベルでの交流が広がって行政を刺激することができると思います。また、あまりにも過激な福島に対する風評は、民間交流の口コミで払拭していけると確信しております。そういう意味で、ふくかんねっとの「友だちづくり」に協力します。（全州）

◆福島ファンになった人ボランティア（済州島、女性）

4月の福島行きの班に混ざることにしました。福島の皆さんにまた会いたいためです。福島のすべてが好きになりました。はじめは福島がとても危険な場所だと思っておりました。どうしても、一度見に行きたくて 2 月に参加して、すっかりファンになってしまい、ボランティアをすることになりました。これまでの日本に対するイメージをすっかり変えてくれました。福島の女性の皆さんが一生懸命に私たちのためにやってくださる姿を忘れられません。今後は、福島の風評被害を減らすために私のできることをやっていきます。

◆福島ファンになった人ボランティア（郡山、男性）

まずは、すぐにでも福島に友達を連れて行きたいです。ゴルフでも行けるように、周りのゴルフ好きな仲間を誘いたいです。今回の事業で、福島の皆さんが、風景が、食べ物が大好きになりました。私たちは、知らなかっただけです。福島を見て、体験して、交流して、感動しました。どうしたら、市民レベルでこれほどまで頑張れるか、毎日が感動でした。まったく敬服します。特に、ふくかんねっとの皆さんの頑張りにも頭が下がります。そして、胸が熱くなりました。2 月の招へい事業に参加したので、感謝をこめてタオルを用意し、派遣の皆さんにお渡ししました。

6. 参加者の対外発信

3 月 19 日）大邱での交流会のために、福島から持っていた材料で、いなりずしやお好み焼きを作る団員。 ・福島産の農食品が安全であるというアピー	3 月 17 日）韓国の伝統団扇を作りました。 韓国の伝統的な団扇をつくり、日本のそれとの比較を学び、団員は両国の比較文化へ関心が高まりました。

ルをするために飲食を提供したところ、参加した韓国の皆さんは「これまでの誤解していた」と言って、おいしく食べていただきました。	
3 월 19 일)대구에서의 교류회를 위해 후쿠시마에서 가지고간 재료로 이나리스시와 오코노미야키를 손수 만드는 단원. ・후쿠시마산 농식품이 안전하다는 어필을 하기 위해 교류회에 참가한 손님들에게 음식을 제공했는데 “지금까지 오해가 있었다”고 하면서 맛있게 드셨습니다.	3 월 17 일)한국전통부채를 만들었습니다. 한국의 전통부채를 만들고 일본의 부채와 비교하고 배우면서 단원이 양국의 비교문화의 높은 관심을 보였습니다.

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

3 月 15 日）アクション・プランの発表 1 facebook に「jenesys2016 ふくかん農食品文化交流」ページを作り、事業終了後でも続けて福島の農食品の安全を発信していくことにしました。 ・5 班の団員から福島の農食品を継続して発信するためには、持続的なツールがほしいと提案してくれました。	3 月 19 日）アクションプラン発表 2 農食品文化交流の継続プランについて話し合いました。韓国のサイドから農家訪問、農家同士の仲間づくりの提案がありました。JA 関係の皆さんも一緒に「非常に前向きな話」として、１年に一回、相互訪問という形で、今後の計画を立てることになりました。
3 월 15 일)액션플랜 발표 1. 페이스북에 “jenesys2016 후쿠칸농식품문화교류”페지를 만들고 사업후에도 계속해서	3 월 19 일)액션플랜 발표 2 농식품문화교류를 계속이어가기 위한 플랜에 대해 한국 팀들과 얘기를 나눴다. 한국측에서 농가방문, 농가끼리

후쿠시마 농식품에 대한 안전을 발신하기로 했다.	친구만들기 제안이 있었다. 일본농협관계자도 함께 “대단히 흥미로운 얘기”로써 일년에 한번씩 상호 방문을 하는 방향으로 앞으로의 계속을 세우기로 했다.